

私たちの町、今とこれから

1年2組

●今の私たちの町

僕が住んでいた町は、陸前高田市高田町だった。3月11日に起きた東日本大震災により町が忽然と消えてしまった。震災後に町を訪れてみると、あったはずの建物などが無くなっており自分がここに本当に住んでいたのかと思うほどの変わりようでした。

僕の家は、高田高校近辺にありました。震災が起きてから3日後くらいに家の近くまで行くことができました。もうそこには、家の面影はまったく無く残っていたのは土台だけでした。そこから回りを見渡してみると、何度見ても悲しくなるほど殺風景になっていました。高田の象徴でもあった松原の松の木もあれだけ沢山あったのに、今では1本しか立っていません。さらに、毎年夏には遊びに行っていた砂浜も地震による地盤沈下により海に沈んでしまい、家から見た海がとても近く感じました。自分が慣れ親しんだ町のはずなのにどこへ行っても場所が分からなくて、そんな自分が嫌になることもあります。

まだ15歳の僕ですが、やっぱり自分の住み慣れた町を失ってしまうと心のどこかに穴が開いたかのような気持ちになってしまいます。自分の故郷が無くなってしまい今でも悲しくてなりません。

これから高田が前の様に戻ることは、無いかもしれないですが出来る事ならいつか戻って欲しいなうと思っています。

●これからの自分

僕は、今回の震災により家だけではなく両親や仲の良かった親戚など多くの物を失ってしまいました。そのなかでも、やはり両親を失ってしまったことは自分にとってとてもショックな事で、気にしていないふりをしているだけで未だに引きずってしまっています。

それでも、周りの人たちが支えてくれて今、何とかやれている部分もあります。そういう部分に関しては、感謝してもきれません。

親の願いでもあった野球を最初はとてもやる気分にはなれなかったが、親の為にともし続けることを決意しました。高田高校の野球部は、人数が多くやっていたか不安な部分もありますが、小さいころからの夢であった甲子園出場を必ず達成したいと思います。高校を卒業したら、出来るのであれば大学に進学して野球を続けていきたいと思っています。自分のやれる所までやっていきたいし、その先も続けていきたいです。

正直、先の事なんて分からないし、ただ振り回されて生活してしまっています。とは言ったものの、先の事が分からないんじゃなくて考えてないだけ、現実逃避してるだけだと言われたりもしました。でも、やっぱり考えても分からなかったです。この先、すぐには無理でも必ず何か目標を持っていきたいと思っています。

将来どんな大人になれるか分かりませんが無力な人だけには、なりたくないです。この被災地を支えていけるほどの人を目指してこれからがんばります。



・撮影日時 平成23年4月20日

・場所: 高田保育所近辺

・コメント: 自分の家の車だとは思えなかった。